

回心というのは
自力の心を
ひるがえし
すつるを
いうなり
「一念多念文意」

ほうきさん
2018年 4月
棕本673 存仁寺



臼井貞子さん作

—ただ念仏して—

春爛漫の日、智積西勝寺様にちひろさんとの尊いであ
いのご縁をいただきました。トークの中で、祖父の導いて
くださったご縁というお話をされました。ちひろさんの祖
父は東昇さん、ウィルス学の博士で、人生の晩年は「念仏
者」と呼ばれた方でした。鹿児島県川部町、隠れ念仏の里
のご出身で、東さんのお母さんは文字が読めず書けずの方
でしたが、仕事をしながらいつもお念仏がこぼれるお方だ
ったそうです。勉強熱心だった東さんは当時、海軍の養成
のため東京の麻布中学に推薦入学をされますが、やがて身
体検査で海軍への道を止む無くされ、挫折の中帰省され
そうです。その心を救ったのが両親の大切にしていた『歎
異抄』だったといわれます。そして医学の道へ進学を志し
ますが、何でも望むことを受け入れていた優しいお母さん
が「親鸞聖人がお生まれになり、法然聖人に出遇われた場
所、ご本山のある京都に行つて欲しい」と切望されたそう
です。京都大学の医学部でウィルス学を学び、研究、やが
てはその権威者となつていわれます。海外派遣から戻り、
当時ドイツ・ベルギーに一台づつしかなかった電子顕微鏡
を苦学しながら設計、日本初の制作、完成させました。し
かしそこにも、お母さんが、田畑を売り、家までも手放し
て資金援助されたそうです。科学の道、宗教の道を歩ん
でいかれた人生、晩年は「私は母のおなかの中にいるときか
ら、お念仏を聞いていました」と目に涙をにじませお母さ
んの話、講演をしていかれたそうです。紫綬褒章の折記者
からの質問に、「私は科学者である前に一人の人間でありま
す。自分の生の総決算は、ただ念仏であります」とおつし
やいました。様々な悩みに遇ったとき鴨川のほとりで『歎
異抄』を開き、声に出して読んでおられたといわれました。
お母さんから受け継いだお念仏の心は、科学の道を歩みな
がらも救ってくださった道であったことのお話に、満堂の
聴衆の心の中にもあたたかな、和らぎの花が咲きました。

「回心というは自力の心をひるがえしすつるをいうなり」
今月の言葉は、親鸞聖人の著作『唯信鈔文意』の一節です。

「回心」という言葉は、一般的には「かいしん」と読み、これま
での誤った心を改めることをいい、「改心」と同じ意味で用いる
こともあります。キリスト教などでは、過去の罪の心や生活を悔
い改めて、神の正しい信仰へ心を向けることを「回心」というよ
うです。仏教ではこれを「えしん」と読み、もともとの心をあら
ためて正しい仏道に向かうことをいいますが、浄土真宗では、今
月の言葉のように、自力の心をすてて他力に帰することを「回心」
というのです。いずれにしても「回心」という言葉は、これまで
自分の持っていた価値観が崩れ、まったく新しい価値観が誕生す
ることによって、人格の内面が変化することであるといえます。
親鸞聖人は兄弟子であった聖覚法印の書かれた『唯信鈔』をとて
も大切にされ、関東の門弟たちにもたびたび書写して伝授されて
いますが、その『唯信鈔』に出ている文について釈されたのが、
『唯信鈔文意』という書物です。はじめのところに「唯」という
ことばを解釈されて、「ただこのことひとつという、ふたつなら
ぶことをきらうということばなり」といわれ、また「本願他力を
たのみて自力をはなれたる、これを『唯信』という」とかいわれ
ています。親鸞聖人にとって、「他力」とは「自力」をはなれる
ことであり、本願他力のほかに、他のことを並べないことであり
ました。阿弥陀さまのお救いにあずかるとは、これまで迷い続け
てきたものである自己への執われ、すなわち「凡夫自力のはから
い」を捨てて、阿弥陀さまの智慧と慈悲のはたらきすなわち「他
力本願」によって、必ず浄土へ生まれて真実のさとりを開くこと
に決定した身（正定聚といえます）にしていただき、今ここから、
さとりの道を歩いていくということだったのです。

4月の行事



1日(日) 6時30分 おあさじ

鈴鹿組はなまつり 常信寺様 9時30分

5日(木) 10時 コーラス

13時30分 無量寿会花まつり・総会

16日(月) 6時30分 おあさじ

21日(土) 17時～19時 お寺でヨガ

28日(土) 13時30分 春季永代経法要

29日(日) 13時30分 春季永代経法要

17時より世話方会

5月の行事



1日(火) 6時30分 おあさじ

3日(木) 13時30分 コーラス

13日(日) 10時 仏教婦人会役員班長会義

16日(水) 6時30分 おあさじ

24日(木) 13時30分 無量寿会例会

26日(土) 19時 仏教壮年会総会

4月29日(日) 午後5時より世話方会
を持たせていただきますのでご予約下さい

春季永代経法要

4月28日(土) 午後1時30分 おつとめ

4月29日(日) 午後1時30分 おつとめ

法話 一志 西向寺 楠原純悠師

亡き方を偲ぶ私に、すでに仏さまとなった亡き方が、いつでもこの私に願いをかけて下さってあります。仏の願いに遇わせていただきますよう

お念仏のひろば ご案内

毎月17日津市丸の内 正覚寺様「紫雲会」

おつとめ 午前10時30分

午前の部 午前11時から12時30分

午後の部 午後1時30分から3時

4月17日(火)『闇は聴より生ず』

大谷派 伊東恵深師 (聴講費700円)

正覚寺婦人会勉強会

「妙好人から味わう浄土真宗」

4月22日(日) 午前10時～12時

『お軽同行』存仁寺住職

宗派・教区・鈴鹿組関連 4月

1日(日) 鈴鹿組はなまつり 9時30分 常信寺

15日(日) 鈴鹿組運営委員会 13時30分 専念寺

22日(日) 鈴鹿組臨時組会 芸濃庁舎 13時30分



3月11日14時47分、
東日本大震災から7年です。
追悼の鐘を撞きました。

世話方引き継ぎ

2年間の任期でお世話いただきました世話方さん、新任の方へと初めての引継ぎをさせていただきます。たよりの配布・護持経費



などの徴収と回っていただく場所などの確認です。どうぞ、宜しくお願い申し上げます。

3月長女が得度をいたしました。法名、釋響暁です。
あたたかい、お育ていただきますことお願い申します。

安東町西光寺様 永代経ご案内

5月5日(土) 両日とも午後1時30分

5月6日(日) 法話 一志 加藤幸子師

(5月5日は午前10時より子どもの集い)

合同墓が完成されました!!!

4月28日(土) 午後1時より、
建碑法要をおつとめさせていただきます。どうぞ皆さま
ご参拝ください。



お寺でヨガ!!!



2時間のリラックスタイムです。
子どもさんから、ご年配の方まで
無理なくゆっくりと体をほぐし、
気持ちを和らげ、ゆったりとする
解放感あふれるひと時です。
あなたも、一緒にはじめませんか。